

# 101-110

## 問題文

生薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. トウニンは、エビスグサの種子由来の生薬で、駆瘀血薬として用いられる。
2. ニンジン、オタネニンジン、オタネニンジンの根由来の生薬で、補気薬として用いられる。
3. トウキは、トウキ又はホッカイトウキの根由来の生薬で、理気薬として用いられる。
4. ブクリョウは、マツホドの菌核由来の生薬で、利水薬として用いられる。
5. チンピは、ウンシュウミカンの成熟した果皮由来の生薬で、補血薬として用いられる。

---

## 解答

2, 4

## 解説

選択肢 1 ですが

トウニンは、バラ科モモの種子由来の生薬です。エビスグサでは、ありません。ちなみにエビスグサの種子は、ケツメイシです。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

トウキやジオウは、代表的な「補血薬」です。理気薬として用いられるのはサイコ、チンピ、ハンゲなどです。

選択肢 4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが

チンピは、理気薬として用いられます。補血薬として用いられるのはトウキやジオウです。

以上より、正解は 2,4 です。